

Grüß Gott!!



ミュンヘン日本人国際学校 斎藤 隆広 NO. 1

ドイツと言えばビール

Grüß-Gott!! (バイエルン州のこにちは) ミュンヘンでも雪が降り始めてきました。ドイツでの生活紹介遅くなりましたが、よろしくお願いします。

さて、早速ですが、ドイツと言えば「ビール」。日本と比べてもとても安価で、多くの種類があります。近所のスーパーには、醸造所ごとに何種類ものビールが売られており、500mLの瓶で1本1€程です。日本円にすると、1本130円程度でしょうか。お店のオリジナルブランドに関しては、500mL×20本で11€。1Lで1500円程度となり、とても驚きました。自宅地下のケラー（物置）は共同なのですが、買い置きのケースがたくさん積まれていて、これまた驚きました。

これは売り場の一部分です⇒



ビールの種類も様々

Hell

ドイツで一般的に飲まれている。ラガービールとも呼ばれていて、少しホップが濃い感じのビールです。



Dunkel

黒ビールと言われているもの。その名の通り、見た目も黒く濃くなっています。



Weiß

白ビールと言われているもの。フルーティーな味わいと濁った感じが特徴のビールです。



Pils

日本で一般的に飲まれているものに近いビール。スーパー〇〇〇などと喉越しが似ています。



ドイツでの生活

Grüß-Gott!! ミュンヘンも本格的な冬に突入しましたが、十勝に比べるとほとんど氷点下10°C以下にはならず、雪もひざ程度までしか積もらぬようです。ですが、アルプス山脈を中心に、周りを大きな山々に囲まれているため、ウィンタースポーツは非常に盛んに行われています。

今回は、ドイツでの生活を始めた頃に驚いた3つのことを紹介したいと思います。

1つ目は、自転車文化がすごいことです。私の住んでいる町では、歩道の隣に自転車道が設置されおり、自転車は自転車道を走らなければ罰せられてしまうということです。自転車の種類やレンタサイクルも豊富で、最近ではレンタキックボードもたくさん出てきています。みんなかなりのスピードで走っていて、油断していると本当に危ないです。地下鉄やバス、鉄道にもガンガン自転車を積み込んで乗っています。そんな自転車が盛んなドイツなので、小学校でも自転車で驚きました。現在私は小学部の4年生の担任をしています。4年生では、ドイツの法律で自転車教室を行い、試験を受けることが定められています。決まりや標識を学ぶための座学10時間を受講し筆記試験を受けます。その後、実技実習10時間を受けた後に実技テストを行います。合格すると、自転車免許証まではいかないのですが、合格証明書が警察の方々から手渡されます。ドイツ語でたくさんのこと学ばなければならぬので、子どもたちはとても大変そうでした。私もここで一緒に学ばせてもらい、ここで標識の意味を知り、やっと安心して車に乗れるようになりました。ちなみに、ドイツの小学校には、自転車の実技実習のためのコースが備え付けられています。

2つ目は、犬がとてもお利口だということです。ドイツで犬を飼う時は、ブリーダーに預けて梱けてもらってから飼い主の元に来るようです。なので、日本に比べて犬の鳴き声を聞くことが少なく、かっこよく歩く犬が多くいます。これまた、地下鉄やバス、鉄道にもガンガン犬が乗っています。小さい子どもよりよっぽどお利口なので、それはもう納得ですね。

3つ目は、ドイツの家の構造は非常にカビが生えやすいことです。気密性を求めるあまりに、そんな構造ばかり建ててしまつたらしいのですが、季節関係なく毎日朝晩10分ずつの換気をしなければ、カビが生えるリスクが高まってしまうとのことです。ドイツでは、カビに対する危機感が非常に高く、一度生えてしまうと壁をすべて貼り換えなければならない事態にも陥るようで…。冬は寒くて辛いですが、頑張って換気をしています。

次号では、ミュンヘンのイベントや生活に関わることを紹介できたらと思います。